

# 京都府立医科大学附属

# 北部医療センター(与謝の海病院)NEWS

平成27年1月

Vol.6

《病院理念》信頼される全人的医療

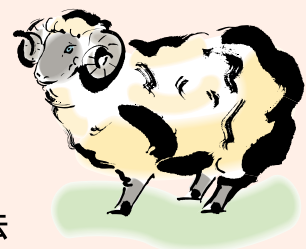
《基本方針》

- 患者さんが中心の安心安全な医療を提供します
- 患者さんと医療従事者のコミュニケーションを大切にします
- 個人情報の保護に努めます
- 専門性と総合性をもつ診療を行います
- 地域に開かれた病院として貢献します
- 全人的医療が行える医療人を育てます
- 地域の特性を活かした研究を推進します



## 新年のごあいさつ

京都府立医科大学附属北部医療センター  
病院長 中川正法



新年、明けましておめでとうございます。

京都府立医科大学附属北部医療センターになって、2回目の新年を迎えました。今年は元旦からの大雪のため雪かきで迎えた新年になりました。

北部医療センターは、「信頼される全人的医療」を基本理念とし、1) 安心安全な医療の提供、2) コミュニケーションの重視、3) 個人情報の保護、4) 専門性と総合性をもつ診療、5) 地域に開かれた病院、6) 全人的医療が行える医療人の育成、7) 地域の特性を活かした研究の推進を基本方針として掲げ、患者さんを中心とする全人的医療を目指して職員全員が一丸となって取り組んでおります。昨年は、府民公開講座やケーブルテレビなどを通じての医療情報の提供、認知症疾患医療センターの開設、救急診療機能の拡充、救急ワークステーション本格始動、教育機能の充実などを行って参りました。これらの取り組みと相まって外来・入院患者さんともに増加傾向になっております。

当院の施設の老朽化に伴う様々な課題もあり、皆様にはご不便をおかけする点多々あるかと存じますが、今年も診療設備の充実、専門性と総合性を備えた医療サービスの提供などを通じて、皆様に愛される地域中核病院として更なる飛躍を目指したいと考えております。

今年も未年です。寒くても暖かい群れをなす羊は、皆さんの健康と安全、平和な暮らしを意味しているようです。平成27年が皆様にとって、笑顔多き年となることを心より祈念しております。

今年もよろしくお願い申し上げます。

平成27年 元旦

### 【第6号の内容】

- 1 ページ ● 新年のごあいさつ…中川正法病院長
- 2 ページ ● 宮津高校インターンシップ ● QCサークル報告会 ● クリスマスコンサート
- 3 ページ ● ナースのお仕事2…糸井弘美看護師長 ● 一口レシピ ● 職員募集
- 4 ページ ● 診察室「総合診療科」…石野秀岳医長 ● 診療科紹介「小児科」…小坂喜太郎医長
- 5 ページ ● 地域医療連携室「かけはし」
- 6 ページ ● 外来各科診察担当医表 ● 医師異動情報



〒629-2261  
京都府与謝郡与謝野町字男山481  
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)  
<http://nmc.kpu-m.ac.jp/>

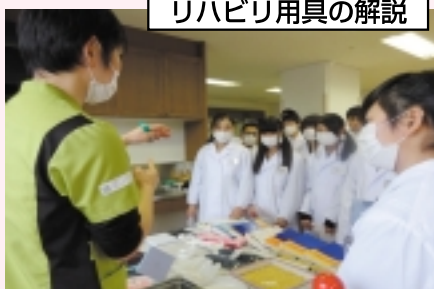
## 宮津高等学校インターンシップ（就業体験）

平成26年12月8日(月)、府立宮津高等学校1・2年生の医療職進学希望者24名を対象としたインターンシップ（就業体験）を行いました。

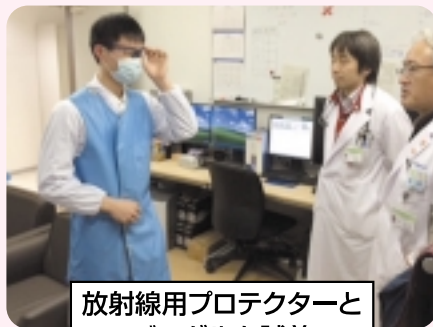
落合副病院長の歓迎の挨拶の後、同校出身の総合診療科 石野医長の講義と、整形外科 吉岡副医長から激励がありました。

職種別体験では、①医師、②薬剤師、③放射線科・臨床検査科・リハビリテーション科の3コースに分かれて、普段は見学できない施設や機材、病理診断の検体の見学、薬の調合などの模擬体験を実施

参加者からは、「医療の仕事に就きたいという気持ちがいよりの強くなった」、「将来、地元に戻って働きたい」などの心強い感想がありました。



リハビリ用具の解説



放射線用プロテクターとゴーグルを試着



薬の調合

## 第9回「QCサークル大会」開催



この大会は、医療・サービスの質を向上させるため、職員が医療現場で感じる気づきをもとに、改善を提案する場です。

回を重ねるごとに、取り組む内容が多彩になる一方で、継続した内容で着実に成果を上げるサークルも増えました。また、創意工夫を凝らしたプレゼンテーションは上達し、職員も毎回楽しみにする『現場の声を発表する場』となりました。

今回は、病院機能評価に向けて「みんなで取り組む機能評価クオリティーコントロール」をテーマに、災害発生時の対応、わかりや

すい案内図など11チームが各5分間と限られた時間で発表しました。

審査委員の厳正な審査のもと、今年度の発表会の授賞サークルを決定しました。主な結果は次の通りでした。

各賞	サークル名(部署)	テーマ
最優秀賞	瞳ちゃん(外来)	散瞳間違い ゼロ!!
優秀賞	Ready Go! (A3病舎)	入院物品いつ揃えるの?今でしょ!
3位	Let it go!! (手術室)	笑顔でお出迎え
特別賞	ホワイトボードーズ (C2病舎)	まだいけるか、指示もらうなら今でしょ!

## ★★クリスマスコンサートを開催しました★★

クリスマスイブの12月24日夜に、クリスマスコンサートを開催しました。患者さんやその御家族を前に、地元で活動されているオカリナのサークル「ハニーローズ」と、職員と看護学生等で構成する「くれっしゅんど与謝」が「野に咲く花のように」や「クリスマスメドレー」など全7曲を演奏しました。また、医師と看護師の有志で結成した合唱団が、クリスマスの名曲「ジングルベル」などを合唱しました。約100名の方々が、手拍子を打ったり、一緒に歌い、クリスマスの楽しいひとときを過ごしました。





## ナースのお仕事 2

— 糸井 弘美 看護師長 —



今回はC5病棟看護師長をしている糸井師長を紹介します。  
[いとい ひろみ：平成6年から当院勤務、C5師長は平成26年4月から]

### 質問1：看護師になろうと思った理由は

**糸井**：私は小学3年生の時、急性腎炎になり病院に数か月通院していました。この時やさしく接して下さった看護師さんに憧れ、看護師になりたいと思いこの職業につきました。

### 質問2：看護師になって、印象深かったことを教えてください

**糸井**：私が看護師になって10年目ぐらいの時、仕事に気が緩んだ頃に言われた一言は忘れられません。いつものように患者さんの部屋を出るときに「あとでまた来ますね」と言って出ようとする時「あとでいつ来るの、君はいつもそう言ってなかなか来ないじゃないか。患者はまた来るといわれるといつ来るか考えるんだよ。」と言われました。この時、言葉の大切さ、患者さんの思いを改めて考え、反省しました。今でもこの時の言葉を思い出し、患者さんにより添える看護ができるよう努力しています。

### 質問3：あなたのナースのお仕事を教えてください

**糸井**：2014年より呼吸器、総合診療科の病棟で、師長として患者さんに寄り添える看護が行えるよう病棟看護師と共に頑張っています。師長の仕事以外に、摂食嚥下障害看護認定看護師として、食べるのが困難な患者さんのサポートをしています。

### 質問4：看護師としての今後の抱負を教えてください

**糸井**：医大附属北部医療センターとなってから、今まで以上にスタッフと共に地域に貢献できる病院になるよう努力していますので、今後ともよろしくお願いします。

## 一ロレシピ 「伊達巻き」

☆伊達巻きは巻きもの(書物)に似た形から知識が増えることを願う縁起物です。

- 「材料」
- |         |      |       |      |
|---------|------|-------|------|
| ・大判はんぺん | 大1枚  | ・みりん  | 大さじ1 |
| ・玉子     | 4個   | ・酒    | 大さじ1 |
| ・砂糖     | 大さじ1 | ・薄口醤油 | 小さじ1 |

### 「作り方」

1. 材料を全部ミキサーにかけておく。
2. ごく弱火で熱し薄く油を引いたフライパンに1を流し入れ、ふたをして約3分表面が乾くまで焼く。
3. 焼けたら巻きすに焼き面が下になるようにのせ、くるくる巻き両端をゴムでしばる。
4. 冷めたら好みの厚さに切る。



## 職員募集中！ 看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士

当センターでは現在、正規職員(看護師)、期限付職員(看護師、理学療法士、作業療法士)、非常勤嘱託職員(薬剤師)、臨時職員(看護師)を募集しています。条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】京都府立医科大学附属北部医療センター 庶務課  
☎0772-46-3371 (代表)

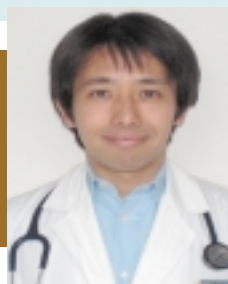




診察室

「多くの人が誤解しているインフルエンザ」

総合診療科 医師 石野秀岳



一般に広く知れ渡っている感染症の中で、インフルエンザほど誤解されている感染症は無いと考えます。曰く「検査で陰性だったから、インフルエンザじゃない」「今夜の検査は陰性だったから、明朝もう一度受診して検査をやりなおす」「インフルエンザの薬を飲んだから安心」「熱があるから検査をしてもらいに受診する」以上全て、完全に正しいとは言えません。むしろ間違っている場合が多いのです。

いわゆる抗インフルエンザ薬は、健康成人において、季節性インフルエンザの場合には効果は殆どありません。むしろ副作用の方が多いのです（必要な方とは、例えば5歳以下、心肺の病気が重症、高齢者、免疫能低下の方です）。では、なぜみんな処方されるのでしょうか？謎ですね。ましてや、インフルエンザの点滴治療は、健康成人においては集中治療室に入院する可能性のある重症患者さんが使用するものです。抗インフルエンザ点滴薬を使用された場合は、よほど重症であると判断された可能性があるので注意が必要です。

検査も非常に誤解されています。あの検査は万能ではありません。「インフルエンザ疑い患者に検査して、陰性だった場合、本当にかかってない

確率は56%」(注)なのです。検査で陰性の結果でも約半分はインフルエンザの可能性があるので、注意が必要です（これを医学用語では偽陰性と呼びます）。陽性で確定、陰性でも44%は可能性が残る検査。どっちなんやと言いたくなりますね。私はそんな検査は、受けたく無いので、インフルエンザと宣言して、家でおとなしく熱が下がるまで寝ている方を選びます。ワクチンも嫌がっている人が多いです。が、医師は9割接種してます。私の家は一家全員受けています。

- インフルエンザの検査で陽性は确实だが、かかってない事は証明できない。陰性でも安心できない。
- 健康成人の季節性インフルエンザに対して、薬は不要
- 健康成人はインフルエンザかな？と思ったら、医療機関を受診して他者に感染を広めるべきではない。家で水分をとって安静にする。
- 勤務先の上司はインフルエンザ流行期に熱が出ている人を出勤させない。職場の他の人を守る必要があります。
- ワクチンを打ちましょう。



(注) BMJ Open. 2014 横川ら

診療科紹介

—小児科—

小児科 医師 小坂喜太郎



小児科では初診時中学生までのお子さんの診療を行っています。基幹病院ですので、近隣の開業医の先生からご紹介をうけた患者さんの外来・入院診療が中心となります。現在4名の常勤医で診療にあたっていますが、それぞれ専門分野をもっておりますので、その専門的な診療の内容をご紹介します。

新生児領域では、京都府北部の地域周産期母子医療センターとして、在胎32週以降の新生児の管理を行っています。早産児や生後、呼吸障害がみられる赤ちゃんの治療を行っています。

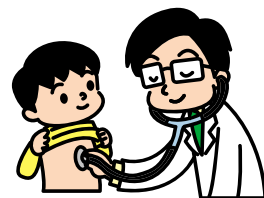
代謝・内分泌領域では、新生児マス・スクリーニングで異常が見つかったお子さん(19疾患)の確定診断やその後のフォローを行い、低身長児や小児糖尿病の治療を行っています。

神経領域では、けいれんがみられるお子さんの治療を行い、発達障害のみられるお子さんの支援がス

ムーズに行えるよう教育機関との連携システムの構築も図っています。

アレルギー領域では、食物アレルギーを増悪させず、正常な発育がのぞめるよう無意味な食物制限がなされないように、食物負荷試験を行い、制限を解除しています。アレルギーがあって予防接種がうてないお子さんに専門的予防接種も行っています。

その他、他科と連携しながらほとんどの領域をカバーできる体制を組んでいます。なにかお子さんのことで気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。



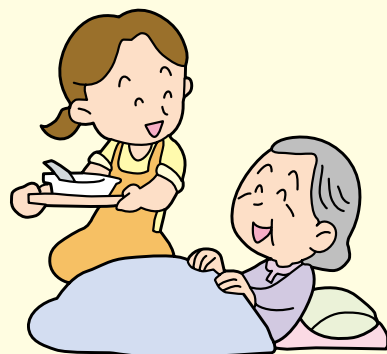
# 地域医療連携室「かけはし」

## 当院は「在宅療養あんしん病院登録システム」に参加しています

「在宅療養あんしん病院登録システム」とは、あらかじめ必要な情報を登録しておくことで、在宅療養中の65歳以上の高齢者が体調をくずし、在宅での対応が困難となった時に、スムーズに病院で受診し、必要に応じて入院ができるシステムです。

早めの対応により、病状の悪化や身体の働きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活を続けることを支援します。

- 対象…在宅療養されている京都市在住の65歳以上の方
  - ・訪問診療を受けている方
  - ・かかりつけ医に定期的に通院されている方
- 申込み…「かかりつけ医」(病院・診療所)にご相談ください。
- 問合せ先…当院・医事課  
(電話0772-46-3371(代表))
- 受付時間…月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時



※詳しくは、京都地域包括ケア推進機構のホームページをご覧ください。  
<http://www.kyoto-houkatucare.org/>

## 認知症疾患医療センターの活動から

### 〈認知症があっても豊かに穏やかに暮らすために〉

やんわりとお喋りを訂正するご主人と、ほほえんでその目を見つめかえすAさん。眉間にしわを寄せて間違いをきびしく指摘する息子さんと、おどおどした表情のBさん。幸せな認知症と、そうでない認知症が生じる理由には、患者さんとその家族が過ごした歴史や家族関係も大きく影響していると感じます。

「介護する人が優しく接すると、認知症の人は穏やかになられ、それぞれに幸せに暮らしていける」と言われます。もちろん認知症の症状や、ご本人の性格なども影響しますが、穏やかに暮らすために何より大切なのは、心地よい会話と笑顔のある暮らしです。ご家族がゆとりを持ち優しくなられるためには、地域の方々や、私たちを含め、認知症の人と家族を支える関係者の役割も大きいのではと思いながら、ご家族の相談に乗っています。

### 〈当院への受診方法は〉

まずは近くのかかりつけ医に相談ください。専門医の診察が必要な場合、かかりつけ医から地域医療連携室へ予約していただきます。

認知症の診療科	初回の診察
もの忘れ外来(神経内科)	第1・第3水曜日 午後(要予約)
精神科	月曜日～金曜日 午前(当日受付可)



### 〈認知症に関する相談・お問合せは〉

認知症疾患医療センター 専用電話…0772-46-4701 受付時間…午前8時30分～午後5時  
精神保健福祉士と保健師が対応します。お気軽にご相談ください。

# 外来各科診察担当医表

(平成27年1月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金
11	総合診療科	横井大祐 助教(副医長)	(第1, 3, 5) 横井大祐 助教(副医長) (第2, 4) 高田博輝 助教(医長)	(第1, 3, 5) 時田和彦 准教授(副病院長) (第2) 石野秀岳 講師(医長) (第4) 担当医	時田和彦 准教授(副病院長)	石野秀岳 講師(医長)
12	呼吸器内科	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)		大月亮三 助教(医長)
13	消化器内科	1診 玄 泰行 助教(医長)	福井勇人 助教(医長)	西村 健 助教(副医長)	福居顕文 助教(副医長)	福田 裕 助教(副医長)
		2診	(午前 予約) 西村 健 助教(副医長)			
14	循環器内科	谷口琢也 助教(副医長)	宮川浩太郎 助教(副医長)	高田博輝 助教(医長)	有吉 真 助教(副医長)	入江大介 助教(副医長)
15	神経内科	山口達之 助教(医長)		(第1, 3 午後) 中川正法 教授(病院長) (もの忘れ外来) (予約)	山口達之 助教(医長)	中川正法 教授(病院長)
26	精神科	神崎敦博 助教(医師)	上村 宏 准教授(医長)	上村 宏 准教授(医長)	上村 宏 准教授(医長)	神崎敦博 助教(医師)
23	小児科	小坂喜太郎 准教授(医長)	吉田秀樹 助教(副医長)	(第1, 3, 5) 小坂喜太郎 准教授(医長) (第2, 4) 小川 弘 講師(医長)	1診 諸戸雅治 助教(副医長) (第2, 4) 小川 弘 講師(医長) 2診(第1, 3, 5 午前) (予約) 桑原康通 講師	小川 弘 講師(医長)
18	外科	1診 石本武史 助教(副医長)	中村憲司 講師(乳腺・新患) (医長)	當麻敦史 講師(医長)	中村憲司 講師(医長)	落合登志哉 准教授(副病院長)
		2診 渡邊信之 助教(副医長)	満田雅人 助教(医師)	本宮久之 助教(医師)		(第1) 増田慎介 医師 (第2, 4) 常盤和明 特任教授
22	整形外科	1診 (第1午前) 吉岡直樹 助教(副医長) (第2, 5 午前) 吉田隆司 講師(医長) (第3午前) 城戸優充 助教(副医長) (第4午前) 水野健太郎 助教(副医長) (午後・予約) 岡田直也 医師	吉岡直樹 助教(副医長)	城戸優充 助教(副医長)	吉田隆司 講師(医長)	水野健太郎 助教(副医長)
		2診 (午前) 岡田直也 医師			(午前) 岡田直也 医師	
17	脳神経外科		山中龍也 教授(隔週) 関本達之 特任教授(隔週)	山中龍也 教授(隔週) 関本達之 特任教授(隔週)	谷山市太 医師	井上靖夫 医師
19	眼科	1診 奥島健太郎 助教(副医長)	糸井素啓 助教(医師)	畑中宏樹 助教(医長)	畑中宏樹 助教(医長)	奥島健太郎 助教(副医長)
		2診 大槻陽平 助教(医師)		大槻陽平 助教(医師)	糸井素啓 助教(医師)	
20	産婦人科	辻 哲朗 助教(医長)	沖村浩之 助教(医師)	片岡 恒 助教(副医長)	(第1, 3, 5) 片岡 恒 助教(副医長) (第2, 4) 沖村浩之 助教(医師)	野口敏史 准教授(副病院長)
24	泌尿器科	井上裕太 助教(医師)	問山大輔 助教(医長)	問山大輔 助教(医長)	井上裕太 助教(医師)	問山大輔 助教(医長)
25	耳鼻咽喉科	1診 信原健二 助教(医長)	信原健二 助教(医長)	二之湯 弦 医師	信原健二 助教(医長)	齋藤敦志 助教(副医長)
		2診	齋藤敦志 助教(副医長)		齋藤敦志 助教(副医長)	
21	ペインクリニック		(第2, 4) 伊吹京秀 講師			
16	皮膚科	小森敏史 助教(医長)	小森敏史 助教(医長)	小森敏史 助教(医長)		小森敏史 助教(医長)

- 受付時間 ● 再診(予約のある方) 午前8時から受付開始 ● 初診・再診(予約のない方) 午前8時30分～11時
- 閉診日 土・日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日) 【急患は、時間外でも診察】

転出・転入日	転出者			転入者		
	診療科名	職名	氏名	診療科名	職名	氏名
平成26年10月1日	麻酔科	助教(医長)	なか やま よし のぶ 中山 力 恒	麻酔科	助教(医長)	お がわ さとる 小川 覚
平成26年11月1日	精神科	助教(副医長)	にし ざわ すずむ 西 澤 晋	精神科	助教(医師)	かん ざき あつひろ 神崎 敦博
	循環器内科	助教(副医長)	ふく い けん すけ 福 居 顕 介			
平成27年1月1日				循環器内科	助教(副医長)	あり よし まこと 有 吉 真
				麻酔科	助教(副医長)	あり よし た え 有 吉 多 恵
	麻酔科	助教(医師)	たけ むら ひとみ 竹 村 瞳	麻酔科	助教(医師)	やま もと し ほ 山 本 志 歩

医師異動情報

【発行】京都府立医科大学附属北部医療センター（与謝の海病院） 【問合せ先】庶務課  
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://nmc.kpu-m.ac.jp/>  
ホームページから“お見舞メール✉”サービスがご利用いただけます。